

経営比較分析表

岐阜県 北方町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分
法適用	水道事業	末端給水事業	A6
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	84.20	94.56	1,544

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
18,344	5.18	3,541.31
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
17,260	5.17	3,338.49

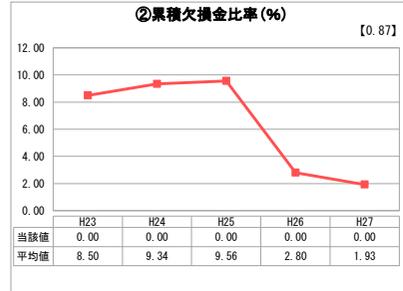
グラフ凡例

- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)
- 【】 平成27年度全国平均

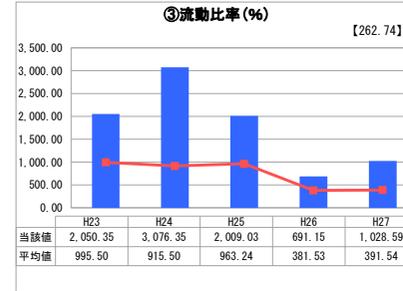
1. 経営の健全性・効率性



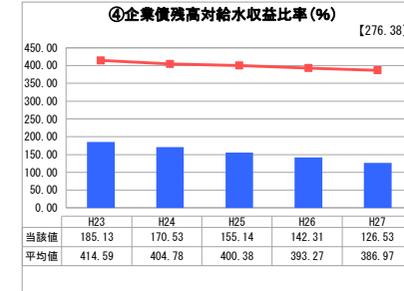
「経常損益」



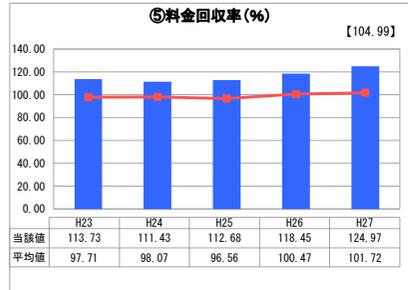
「累積欠損」



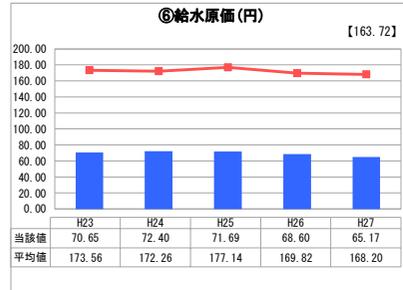
「支払能力」



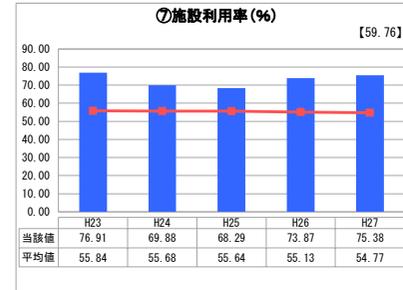
「債務残高」



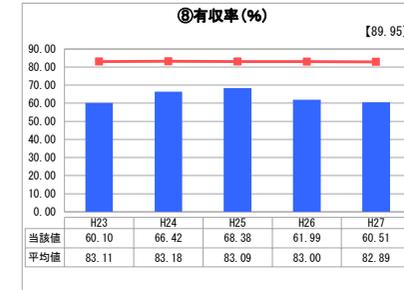
「料金水準の適切性」



「費用の効率性」

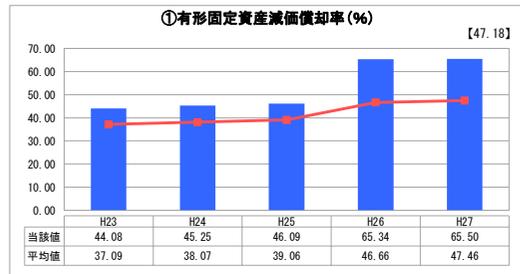


「施設の効率性」

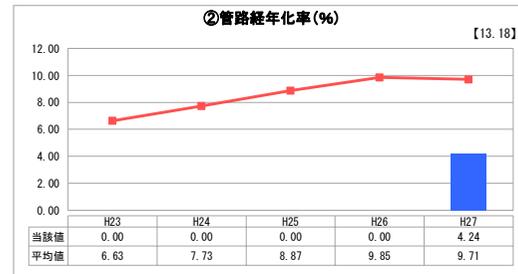


「供給した配水量の効率性」

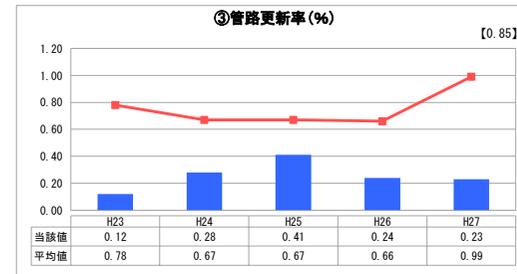
2. 老朽化の状況



「施設全体の減価償却の状況」



「管路の経年化の状況」



「管路の更新投資の実施状況」

分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

経営の健全性については、経常収支比率及び流動比率が平成23年度から27年度まで100%を超えており、収支は黒字で債務に係る支払能力も十分と考えられる。要因としては、本町は平坦地で県下人口密度が高く、効率的に各世帯へ配給水が行えるためと思われる。また、企業債残高対給水収益比率も低く、新たな借り入れも行っていないため、投資規模は適切と推察される。料金回収率が高く、給水原価が低く抑えられているのは、水源として地下水を使用しているため、比較的廉価で供給できるためである。

経営の効率性については、有収率は過去5年間の推移をみると横ばいであり、類似団体の水準を下回っている。水道施設や給水装置を通して給水される水量が収益に結びついていないため、老朽管の布設替等、漏水対策を引き続き実施していく必要がある。

2. 老朽化の状況について

有形固定資産減価償却率が類似団体より高く、法定耐用年数に近い保有資産が多いが、管路更新率は低い。これは、区画整理事業が多く、そのための新設管の布設に費用が偏ったためである。今後は今まで以上に計画的に水道施設の更新を行い、資産管理をしていく必要がある。

全体総括

経営の健全性、効率性について、有収率が低いため、配水管の更新や漏水修繕工事といった漏水防止のための取り組みを計画的に継続して実施する必要がある。平成27年度に漏水調査を実施したが、今後も引き続き効果的に行い、漏水の原因となる施設をさらに改善し、有収率向上を図れるよう漏水防止対策を進める。

老朽化の状況については、平成27年度にアセットマネジメントを作成し、平成28年度に施設管理費用平準化のため長寿命化計画の作成及び29年度には経営戦略策定を行う予定である。これらを合わせ、中長期的財政収支に基づく計画的な施設の整備・更新を行い、適切な施設更新・資金確保に向けての取り組みを実施する必要がある。

※ 平成23年度から平成25年度における各指標の類似団体平均値は、当時の事業数を基に算出していますが、管路経年化率及び管路更新率については、平成26年度の事業数を基に類似団体平均値を算出しています。